

審判講習会 参加報告書

平成 29 年 4 月 2 日  
報告者 中川 知彦

この度参加しました、審判講習会について報告します。  
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	第 48 回全国ミニバスケットボール大会
参加者 (報告者)	中川 知彦 (所属カテゴリー) 東予ミニ連
期 日	平成 29 年 3 月 28 日 (火) から 平成 29 年 3 月 30 日 (木)
会 場	国立代々木競技場第一体育館・第二体育館
講 師	中山泰夫氏、吉田正治氏、平育雄氏、小坂井郁子氏
参加者	審判委員長・委員 23 名、派遣審判員 99 名 計 122 名
報告① <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input checked="" type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)	<p><input type="checkbox"/> ゲーム 女子予選リーグ 埼玉 vs 愛知 主審 及川宜彰氏 (宮城県) 副審 中川知彦 (報告者) 主任 山野辺智晴氏 (関東ブロック審判長)</p> <p>■講習内容 及び ミーティング内容 (プレゲームカンファレンス)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・エリア 3~エリア 4 での受け渡しの確認。 エリア 6 に行くタイミングとアウトオブバウンズの協力を確認した。</li></ul> <p>(ゲーム後コート主任より)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・足を運んでプレイを見に行こうという姿勢は良かったが、目の前のプレイを追いすぎて次のプレイに遅れて動きながらの判定になってしまっていることがあった、もう少しワイドに捉えて相手レフリーの位置や視線を確認しながら位置取りをすること。</li><li>・DF の手の当て方や抜かれ際の接触をもう少し整理するべきであった、相手審判が判定したものを確認して、擦り合わせたほうがよかったものがあった。</li></ul> <p>などの、ご指導を頂きました</p>

<p><b>報告②</b></p> <p><input type="checkbox"/> 講義</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 実技講習</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ゲーム</p> <p>(該当に レ)</p>	<p><input type="checkbox"/>実技講習 講師 吉田正治氏 (日本協会)</p> <p><input type="checkbox"/>ゲーム 男子予選リーグ 栃木 vs 青森</p> <p>主審 中川知彦 (報告者)</p> <p>副審 高梨保樹氏 (広島県)</p> <p>主任 大森弘幸氏 (長野県)</p> <p>■講習内容 及び ミーティング内容 (プレゲームカンファレンス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア3～4の受け渡し、ディレクションやリバウンドの協力、ビッグマンが両チームともにいるのでリードでエリア6に行くタイミングを確認した。</li> </ul> <p>(ゲーム後コート主任より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグマンに対するプレイについては工夫して捉えていたが、ゲーム終盤ではより意識して判定した方がよかった</li> <li>・相手のエリアを鳴らしているケースがあった、プライマリーについて意識する必要があった。(講師より)</li> <li>・キーマンとなる選手に対してのディフェンスで、プレイの捉え方は正解であるが、足元への意識が弱いように感じた。</li> <li>・選手の転倒により時間を止めて対応したケースについて、スキルの高いプレイヤーではあるが、ベンチと連携して交代させる等の円滑な運営を心掛けた方が良かったのではないかと。</li> <li>・リードでエリア6に行くタイミングについて、トレイルだけでは見切れない状況である時には積極的に足を運ぶようにするといいとアドバイスを頂きました。</li> <li>・トレイルでペネトレイトを頻繁に行っていたのはとてもよかった、特にエリア6まで下がる(ダウンペネトレイト)を行い、リバウンドに備えることはこれからも続けてほしい。などのご指導を頂きました。</li> </ul>
<p><b>所感</b></p>	<p>今回、初めて全国ミニバスケットボール大会に挑戦させて頂きました。</p> <p>挑戦するにあたって、機会を与えてもらった関係者や、後押しして下さった方々のために多くのことを吸収して帰県しようという強い気持ちを持って参加しました。</p> <p>大会を通して、ミーティングや他県の方のレフリングを拝見し、さまざまな人と交流をする中で、日頃自分が感じていることが間違いではないという確信が持てました。</p> <p>今の自分に出来たこと、出来ていないこと、今後取り組んでいくべき課題が明確になった非常に価値のある大会でした。</p> <p>このような貴重な経験をさせて頂いた全ての方に深く感謝申し上げます。</p> <p>誠にありがとうございました。</p> <p>この経験を愛媛国体、そして今後の活動に活かしていきたいと思っております。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。